

平成23年情報通信業基本調査票①

(共通事項調査用)

(平成23年3月31日現在)

- ☆ この調査は、統計法(平成19年法律第53号)に基づく一般統計調査です。
- ☆ この調査票は、統計を作成するために使われるもので、**報告者に利害関係を生じるような目的に使用されることはありません。**ありのままの姿を記入してください。
- ☆ 調査票の記入に当たっては、別冊の「**調査票の記入手引**」に従って、黒または青のボールペンではっきりと記入してください。
なお、数値は、必ず調査票に定めた単位で記入してください。
- ☆ 調査の期日は平成23年3月31日現在です。記入内容は**平成22年度の決算期数値**で記入してください。それが**困難な場合は、最寄りの決算期の数値によって記入してください。**
なお、決算期変更の場合は、「調査票の記入手引」を参照してください。
- ☆ 調査票は、**平成23年9月15日までに提出**してください。

1 企業の概要

(1) 企業 名称	(フリガナ)		電話番号 (代表)	
(2) 本社又は本店の所在地 [実際の本社機能を有する場所]	郵便番号 ()	都道府県	市区郡	区町村 (ビル名)
(3) 資本金額又は出資金額 [調査期日時点]	0101	千億 百億 十億 千万 万円	貴社の資本金に占める外国資本の比率を記入してください。	
			0102	外資比率 (小数点第1位まで記入) %
(4) 企業の設立形態及び設立時期	0103	企業の設立年 (西暦4桁年)	設立の形態として該当する番号を選んで○を付けてください。 1. 新規設立 2. 新設合併 3. 新設分割 4. その他	
(5) 平成22年4月以降の組織再編行為の状況	0104	①平成22年4月以降の組織再編行為について該当する番号を選んで○を付けてください。 1. あり ⇒②を記入 2. なし ⇒(6)へ	②平成22年4月以降組織再編行為があった場合、その内容として該当する番号をすべて選んで○を付けてください。 1. 吸収合併 2. 分社化 3. 事業・資産の一部を他社に売却(事業譲渡) 4. 他社の事業・資産の一部を購入(事業譲受) 5. その他	
(6) 企業の決算月	0105	年1回	月	年2回 月、月
(7) 消費税の取扱い (□内にレを記入)	0106	税抜き <input type="checkbox"/>	☆ 消費税の取扱いについては、原則、税込みで記入してください。 ただし、会計処理上税込みで記入することが困難な場合は税抜きで記入し、□内にレを記入してください。	

記入者の氏名	(フリガナ)
本票の記入内容の照会に回答される人(記入者)の所属部署及び所在地	所属部署
	電話 () 局 番 (内線) 番 連絡先所在地(本社・本店の所在地と異なる場合のみ記入してください)
備考欄 (記入内容について、特記すべき事項があれば記入してください。)	

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業組織及び従業者数

(1) 事業組織別事業所数及び常時従業者数

(平成22年度末現在)

区 分			事業所数	常時従業者数 (人)
本 社 ・ 本 店	本社機能部門	調査・企画部門	0201	
		情報処理部門	0202	
		研究開発部門	0203	
		国際事業部門	0204	
		その他の部門 (総務、経理、人事等)	0205	
	本社機能部門計 ①		0206	
	現業部門	情報サービス事業部門	0207	
		その他の部門 (上記以外の部門)	0208	
		現業部門計 ②	0209	
	計 ① + ②		0210	
区 分			事業所数	常時従業者数 (人)
本 社 ・ 本 店 以 外	国内	情報サービス事業所	0211	
		研 究 所	0212	
		その他(上記以外の事業所)	0213	
	海外	海外支社、支店、駐在所等	0214	
	計 ②		0215	
他企業等への出向者 ③		0216		
合 計 ① + ② + ③		0217		
うち、正社員・正職員		0218		
うち、パートタイム従業者		0219		
パートタイム従業者 (就業時間換算)		0220		

(注) 「常時従業者数」には、有給役員、常用雇用者(正社員、正職員、パート、アルバイト、嘱託、契約社員等の呼称にかかわらず1か月を超える雇用契約者及び当該年度末の前2か月においてそれぞれ18日以上雇用した者)の数を記入してください。

(注) 「情報サービス事業部門(0207)、情報サービス事業所(0211)」は、ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、インターネット附随サービス業、映画・ビデオ制作業、テレビ番組制作業、新聞業、出版業の業務を行っている部門・事業所です。

(注) 「本社・本店」の事業所数については、本社・本店の数を「計(0210)」のみ記入してください。「常時従業者数」については、各部門ごとに記入してください。

(注) 事業所数は、「本社・本店の計(0210)」、「本社・本店以外(0211~0215、0217)」に記入してください。

(注) 「本社・本店以外」については、各事業所(海外を含む)ごとに「事業所数」、「常時従業者数」とも記入してください。

(注) 「他企業等への出向者(0216)」には、主として貴社で給与を支払っている子会社、関連会社などへの出向者の数を記入してください。

(2) その他の従業者数

(平成22年度末現在)

区 分	従業者数 (人)
臨時・日雇雇用者	0221
(受入れ) 派遣従業者	0222

(注) 「うち、正社員・正職員(0218)」には、常時従業者のうち、一般に正社員・正職員などと呼ばれている人の数を記入してください。

(注1) 「うち、パートタイム従業者(0219)」には、常時従業者のうち、正社員・正職員より1日の所定労働時間または1週間の労働日数が短い人の数を記入してください。
 (注2) 「パートタイム従業者(就業時間換算)(0220)」には、貴社の正社員・正職員の就業時間で換算し、四捨五入の上整数で記入してください。

(注1) 「臨時・日雇雇用者(0221)」とは、1か月以内の期間を定めて雇用している者及び日々雇入れている者をいいます。
 (注2) 「(受入れ) 派遣従業者(0222)」とは、労働者派遣事業を営む事業主が雇用する従業者であって、当該雇用関係のまま貴社と当該労働者派遣事業主との契約の下に、貴社の指揮命令を受けて、貴社の業務に従事させている従業者をいいます。

3 親会社、子会社・関連会社の状況

(1) 親会社の名称、所在地、業種、議決権所有割合

親会社とは、貴社の議決権の 50% を超えて所有している会社をいいます。
ただし 50% 以下であっても、貴社の経営を実質的に支配している場合も含まれます。(平成 22 年度末現在)

親会社の有無	0300	親会社の有無について、該当する番号を選んで○を付けてください。 1. 親会社がある 2. 親会社はない ((2) 子会社・関連会社の所有状況へ)			
親会社の名称					
親会社の証券コード	0301	親会社が上場会社の場合は親会社の証券コードを記入してください。			
親会社の所在地	0302	都道府 県番号	国分類 番号	国名	
親会社の経営形態及び業種名	親会社の経営形態について、該当する番号に○を付け、業種名、業種分類番号を記入してください。				
	0303	1. 親会社は純粋持株会社である → 業種分類番号は 990 を記入してください。 2. 親会社は事業持株会社である その場合業種名は不要です。 3. その他			
	0304	業種名	業種分 類番号		
親会社の議決権所有割合	0305	%	貴社に対する親会社の議決権所有割合を小数点第 1 位まで記入してください。		
親会社との連結関係	貴社と親会社の連結関係について、該当する番号に○を付けてください。				
	0306	1. 連結子会社 (親会社が連結決算をしている) 2. 非連結子会社 (親会社が連結決算をしている) 3. 親会社が連結決算をしていない			

(注1) 親会社が国内にある場合は、親会社の所在地の都道府県番号、海外にある場合は、国分類番号、国名を記入してください。
(注2) 都道府県番号、国分類番号及び業種分類番号は「情報通信業基本調査用分類表」を参照してください。

(注1) 純粋持株会社とは、事業活動を営むことを目的とするのではなく、他の複数の会社の株式を所有することによって、それらを支配することを主たる目的とし、グループ全体の経営計画立案などに携わる会社をいいます。
(注2) 事業持株会社とは、事業活動を営み、かつ複数の会社の株式を所有することによって、それらを支配することを目的とした会社をいいます。その際、単なる親子関係は該当しません。

(2) 子会社・関連会社の所有状況

① 子会社・関連会社の有無

子会社・関連会社の有無について、該当する番号を選んで○を付けてください。

0310 1. 子会社・関連会社がある 2. 子会社・関連会社はない ((3) 子会社・関連会社の増加、減少へ)

② 子会社・関連会社の所有状況

(平成 22 年度末現在)

議決権所有割合	業 種 分 類 番 号	子会社・関連会社の数						
		国 内	海 外	ア ジ ア		ヨ ー ロ ッ パ	北 米	そ の 他 の 地 域
				うち、中国 (含、香港)				
子 会 社	100% 0311							
	100%未 満 50% 超 (注2)	0312						
関 連 会 社	50% 以下 20% 以上 (注3)	0313						

(注1) 議決権は、議決権の付与が一部であるものを含みます。
(注2) 子会社とは、貴社が 50% 超の議決権を所有する会社をいいます。また、その子会社あるいは貴社とその子会社合計で 50% 超の議決権を所有している会社も含まれます。50% 以下であっても貴社が実質的に支配している会社も含まれます。
(注3) 関連会社とは、貴社が 20% 以上 ~ 50% 以下の議決権を所有している会社をいいます。また、15% 以上 20% 未満であっても、重要な影響を与えることができる会社を含みます。
(注4) 業種分類番号は、「情報通信業基本調査用分類表」の区分に従って分類番号を記入してください。
(注5) 子会社・関連会社を所有する場合、4 ページの「4(2) 関係会社への投資額等」にも記入してください。
(注6) 休眠中の会社は含めないでください。
(注7) 記入欄が足りない場合は、「調査票の記入手引」の「補助用紙」に記入し、左端に貼付してください。

(3) 子会社・関連会社の増加、減少

当該年度に増加、減少した子会社及び関連会社数を記入してください。(平成 22 年度)

区 分		増加社数			
		国 内		海 外	
		子 会 社	関 連 会 社	子 会 社	関 連 会 社
年 度 内 計	0321				
新 規 設 立	0322				
分 社 化	0323				
買 収	0324				
そ の 他 (上 記 以 外)	0325				

区 分		減少社数			
		国 内		海 外	
		子 会 社	関 連 会 社	子 会 社	関 連 会 社
年 度 内 計	0326				
閉 鎖 ・ 廃 業	0327				
統 合	0328				
売 却	0329				
そ の 他 (上 記 以 外)	0330				

(注1) 子会社、関連会社の記入には、(2) (注2) 及び(注3)を参照してください。
(注2) 「分社化 (0323)」とは、企業が事業又は組織の一部を分離し、別会社(子会社・関連会社)を設立した場合をいいます。
(注3) 「買収 (0324)」とは、議決権を所有した場合をいいます。
(注4) 「閉鎖・廃業 (0327)」とは、事業活動を停止し、継続しない場合をいいます。
(注5) 「統合 (0328)」とは、子会社・関連会社間の合併等の場合をいいます。
(注6) 「売却 (0329)」とは、議決権を他社に譲渡した場合をいいます。

4 資産・負債及び純資産並びに投資

(1) 資産・負債及び純資産

(平成 22 年度末現在)

科 目		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	科 目		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	
資 産	流 動 資 産	0401								負 債	流 動 負 債	0411								
	うち、棚卸資産	0402									うち、支払手形・買掛金	0412								
	固 定 資 産	0403									うち、短期借入金(金融機関)	0413								
	有 形 固 定 資 産	0404									うち、短期借入金(金融機関以外)	0414								
	うち、土地以外	0405									固 定 負 債	0415								
	無 形 固 定 資 産	0406									うち、社債(転換社債を含む)	0416								
	うち、ソフトウェア	0407									うち、長期借入金(金融機関)	0417								
	投資その他の資産	0408									うち、長期借入金(金融機関以外)	0418								
	繰 延 資 産	0409								純 資 産	資 本 金	0419								
資 産 合 計	0410								資 本 剰 余 金		0420									
									利 益 剰 余 金		0421									
									自 己 株 式		0422									
									そ の 他	0423										
									負 債 及 び 純 資 産 合 計	0424										

(注) 「**その他(0423)**」には、土地の再評価差額金、金融商品に係る時価評価差額金等が該当します。

(2) 関係会社への投資額等

(平成 22 年度末現在)

区 分	国 内								海 外								
	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	
関係会社への投融資残高	0431																
うち、株式及び出資金残高	0432																
うち、長期貸付金	0433																

(注1) 3ページの「3親会社、子会社・関連会社の状況」に記入された場合、「関係会社への投融資残高(0431～0433)」に記入してください。

(注2) 関係会社とは、子会社、関連会社及び親会社をいいます。

(3) 固定資産の増減

(平成 22 年度)

区 分	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	区 分	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	
有形固定資産の当期取得額	0441								有形固定資産の当期除却額	0444								
うち、情報化投資	0442								無形固定資産の当期減少額	0445								
無形固定資産の当期取得額	0443																	

(4) 剰余金の配当状況

(平成 22 年度)

区 分	千億	百億	十億	億	千万	百万円
配当金(中間配当額を含む)	0451					

5 事業内容

(1) 売上高及び費用等

(平成 22 年度)

科 目	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
売 上 高	0501							
営業費用								
売 上 原 価	0502							
販売費及び一般管理費	0503							
営業外収益	0504							
営業外費用	0505							
うち、支払利息等	0506							
経常利益(△損失)	0507							
当期純利益(△損失)	0508							

「売上高(0501)」の内訳を記入してください。
「売上高(0501)」は、
①情報通信業収入額
②その他の事業収入額
の数値の計と一致します。

(2) 費用の内訳(特掲)

(平成 22 年度)

科 目	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
広 告 宣 伝 費	0511							
荷 造 運 搬 費	0512							
減 価 償 却 費	0513							
給 与 総 額 (賞 与 を 含 む)	0514							
福 利 厚 生 費 (退 職 金 を 含 む)	0515							
動 産 ・ 不 動 産 賃 借 料	0516							
租 税 公 課	0517							

(注) 各費用科目(0511～0517)には「販売費及び一般管理費(0503)」に属する経費と「売上原価(0502)」に属する経費の合計額を記入してください。

(3) 情報処理・通信費

(平成 22 年度)

科 目	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
情 報 処 理 ・ 通 信 費	0520							

(注) 「情報処理・通信費(0520)」＝「情報処理経費」＋「通信費」
・コンピュータによる情報処理やデータ通信等の専門部署における情報処理費用と電話、郵便等の通信費の合計金額
・コンピュータによる情報通信費には、導入諸掛り、リース・レンタル料、保守料、回線使用料、ソフトウェア委託料及び購買費、パンチ委託料、計算委託料(マシンタイム借料を含む)、オンラインサービス料等を含みます。

(4) リース契約により使用している設備に係る支払いリース料(平成 22 年度)

科 目	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
支 払 リ ー ス 料	0530							

(注) 当該年度にリース契約に基づいて支払った金額を記入してください。
リース契約とは、長期間にわたり特定の資産を占有して使用する賃貸借契約をいい、土地・建物の賃借、短期間のレンタル、チャーター等は含まれません。

資本金5億円以上の企業で、財務省の「法人企業統計年次別調査票」を提出される企業については、色分けした調査事項(0401～0424、0451、0502～0508、0513～0517)について記入の必要はありません。

(5) 売上高の内訳

「売上高(0501)」について、その内訳を次の①～②に「**情報通信業基本調査用分類表**」の品目分類または事業分類の区分に従って、売上高または収入額の多い順番に、**分類番号毎にまとめて**、主要な取扱品名または事業の具体的な名称及び金額を記入してください。

①～②のそれぞれの売上高又は収入額の計と内訳は一致します。また、①～②の売上高又は収入額の合計は、「売上高(0501)」と一致します。

① 情報通信業収入額

(平成22年度)

分類番号	主要事業名	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
0531 売上高上位より									
9 9 1	その他								
計									

(注) 分類番号は、「**情報通信業**」……………371～419が該当します。

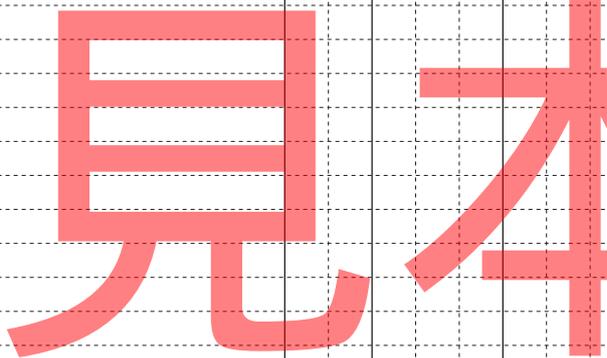
② その他の事業収入額

(平成22年度)

分類番号	主要品名・事業名	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
0532 売上高上位より									
9 9 2	その他								
計									

(注) 分類番号は、「**サービス業**」……………702～710
726～746
781～809
880～929
「卸売業」……………511～559
「小売業」……………570～610
「宿泊業」……………750
「飲食サービス」……760、766、770
「鉱業」……………051
「製造業」……………091～320
「電気・ガス・熱供給・水道業」……………331～360
「金融・保険業」……………621、643
「医療・福祉業」……………830
「教育・学習支援業」……………811、824
「農林水産業」……………010～030
「建設業」……………060
「運輸業」……………440～480
「不動産業」……………680～693
「複合サービス事業」……………860、870
が該当します。

・ サービス業においては、営業収入等の内訳を記入してください。
・ 同一商品であっても「卸売」、「小売」では分類番号が異なりますので、分けて記入してください。



(注1) 品目又は事業の内訳金額は、それぞれの売上高または収入額全体に占める割合が**95%の金額を超えるまで必ず分類区分してください**。
 (注2) 残りの金額については、その内訳が多分野にわたる場合は、分類区分を省略して「991 その他」～「992 その他」に一括計上しても差し支えありません。
 (注3) 記入欄が足りない場合は、「調査票の記入手引」の「補助用紙」に記入し、左端に貼付してください。

6 取引状況

(1) 売上高に関する取引

(平成 22 年度)

区 分		取 引 額						うち、関係会社									
		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
売上高	0601																
仕入高 (モノ)	0602																

(注1) **関係会社**とは、子会社、関連会社及び親会社をいいます。
 (注2) 「売上高(0601)」の取引額は、4ページ5(1)中の「売上高(0501)」の数値と一致します。
 (注3) 「仕入高(モノ)(0602)」の取引額は、4ページ5(1)中の売上原価(0502)のうちの商品仕入高、原材料仕入高等の国内及び海外仕入高の合計を記入してください。
 サービス取引(運輸、通信、建設、保険、金融、情報、ソフト、文化、興行等の各種サービス、特許権等使用料等)については含めないでください。

(2) モノ以外のサービスに関する国際取引

(平成 22 年度)

区 分		取 引 額						うち、関係会社									
		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
海外からの受取金額	0603																
海外への支払金額	0604																

(注1) 関係会社の記入には、(1) (注1)を参照してください。
 (注2) **モノ以外のサービス**とは、運輸、通信、建設、保険、金融、情報、ソフト、文化、興行等の各種サービス、特許権使用料等をいいます。
 (注3) 損益計算書に計上した国際取引に限って記入してください。

7 事業の外部委託の状況

(1) 貴社における外部委託の実施状況について、該当する番号すべてに○を付けてください。

1. 製造委託を行った (1. 国内 2. 海外) ⇒ (2)を記入
 2. 製造委託以外の外部委託を行った ⇒ (3)及び(4)を記入
 3. 外部委託は行っていない ⇒ 8へ

0701

(2) 貴社における製造委託の委託金額

(平成 22 年度)

区 分		取 引 額						うち、関係会社									
		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
製造委託の金額	0702																
うち、海外	0703																

(注1) 関係会社の記入には、6(1)(注1)を参照してください。
 (注2) 「製造委託の金額(0702)」には営業費用(売上原価(0502)を含む)に計上した外注費、業務委託費等(類似のものを含む)のうち、製造委託の総額を記入してください。

(3) 製造委託以外の業務の外部委託 (アウトソーシング) の状況について、1～12の中で該当する番号に○を付け、委託先の国内、海外別について、該当する番号すべてに○を付けてください (建設工事の委託は除く)。

1. 情報処理関連 (1. 国内 2. 海外)
 2. 調査・マーケティング (1. 国内 2. 海外)
 3. デザイン・商品企画 (1. 国内 2. 海外)
 4. 一般事務処理 (1. 国内 2. 海外)
 5. 福利厚生などの従業員福祉関連 (1. 国内 2. 海外)
 6. 税務・会計など特殊分野 (1. 国内 2. 海外)
 7. 社内研修など従業員教育 (1. 国内 2. 海外)
 8. 受付・案内・秘書などの渉外業務 (1. 国内 2. 海外)
 9. 運送・配送・保管など物流関連 (1. 国内 2. 海外)
 10. 清掃・保安・保守などの環境及び防犯関連 (1. 国内 2. 海外)
 11. 研究開発関連分野 (1. 国内 2. 海外)
 12. その他 (1. 国内 2. 海外)

0704

このうち、外注費、業務委託費等として経理処理したものについて、(4)に記入

(4) 貴社における製造委託以外の外注費、業務委託費等の金額

(平成 22 年度)

科 目		取 引 額						うち、関係会社									
		十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万円
製造委託以外の外注費、業務委託費等の金額	0705																
うち、海外	0706																

(注1) 関係会社の記入には、6(1)(注1)を参照してください。
 (注2) **製造委託以外の外注費、業務委託費等の金額**には、営業費用(売上原価(0502)を含む)に計上した外注費、業務委託費等(類似のものを含む)のうち、製造委託を除いたものを記入してください。

8 研究開発、能力開発

(1) 貴社の研究開発（受委託を含む）への取組みについて、該当する番号すべてに○を付けてください。

0801

- 1. 研究開発（受委託を含む）を、国内で行っている ⇒ (2)、(3) を記入
- 2. 研究開発（受委託を含む）を、海外で行っている ⇒ (2)、(3) を記入
- 3. 研究開発（受委託を含む）を行っていない ⇒ (3) へ

(2) 研究開発費及び研究開発投資

(平成 22 年度)

区 分		研究開発費及び研究開発投資																	
		うち、関係会社との受委託																	
		国 内						海 外											
		千億	百億	十億	億	千万	百万円	千億	百億	十億	億	千万	百万円	千億	百億	十億	億	千万	百万円
自社研究開発費	0802																		
委託研究開発費	0803																		
受託研究費	0804																		
研究開発関連有形固定資産当期取得額	0805																		

(注1) 関係会社とは、子会社、関連会社及び親会社をいいます。

(注2) 「委託研究開発費(0803)、受託研究費(0804)」には、大学や他の企業との共同研究に伴う研究開発費も含めてください。

(注) 資本金10億円以上の企業で、総務省の「科学技術研究調査票」を提出される企業については、色分けした調査事項(0802～0805)について記入の必要はありません。

(注) 「研究開発関連有形固定資産当期取得額(0805)」については、4ページ4(3)中の「有形固定資産の当期取得額(0441)」のうち、研究開発に係る金額を記入してください。

(3) 能力開発費

(平成 22 年度)

区 分		千億	百億	十億	億	千万	百万円
能力開発費	0806						

(注) 「能力開発費(0806)」には、講師・指導員経費、教材費、外部施設使用料、研修参加費及び研修委託費、大学への派遣・留学関連費用、大学・大学院等への自費留学にあつての授業料の助成等を含めてください。

9 技術の所有及び取引状況

(1) 特許権等の所有、使用状況

(平成 22 年度末現在)

内 容		所有しているもの (件)	うち、使用しているもの (件)	
			うち、自社開発のもの	うち、(件)
特 許 権	0901			
実 用 新 案 権	0902			
意 匠 権	0903			

(注) 「うち、使用しているもの」には、他社に供与しているものも含めてください。

(2) 技術取引

①受取金額

(平成 22 年度)

内 容			受取金額						うち、関係会社					
			千億	百億	十億	億	千万	百万円	千億	百億	十億	億	千万	百万円
特 許 権	国内	0911												
	海外	0912												
実 用 新 案 権	国内	0913												
	海外	0914												
意 匠 権	国内	0915												
	海外	0916												
著 作 権	国内	0917												
	海外	0918												
うち、ソフトウェア	国内	0919												
	海外	0920												
そ の 他	国内	0921												
	海外	0922												

(注1) 関係会社とは、子会社、関連会社及び親会社をいいます。

(注2) 「受取金額」、「支払金額」には、新規・継続を問わず平成22年度1年間に、国内又は海外の企業との間に技術の受入れ・提供を行った場合に記入してください。

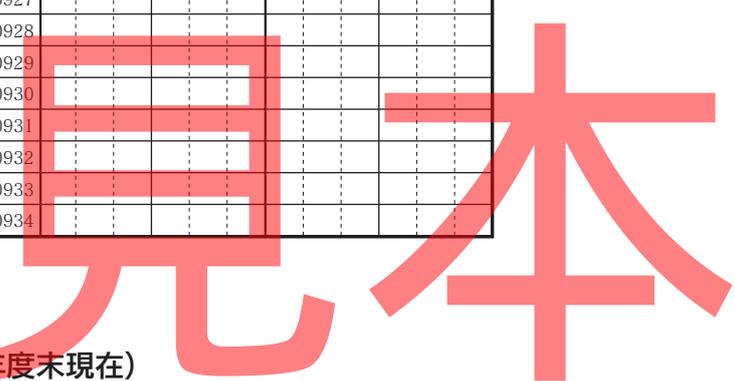
なお、貴社としての「受取金額」、「支払金額」に加え、内数としての関係会社との「受取金額」、「支払金額」について記入してください。

(注3) 「うち、ソフトウェア」とは、コンピュータ・ソフトウェアをいいます。

②支払金額

(平成 22 年度)

内 容			支払金額						うち、関係会社					
			千億	百億	十億	億	千万	百万円	千億	百億	十億	億	千万	百万円
特 許 権	国内	0923												
	海外	0924												
実 用 新 案 権	国内	0925												
	海外	0926												
意 匠 権	国内	0927												
	海外	0928												
著 作 権	国内	0929												
	海外	0930												
うち、ソフトウェア	国内	0931												
	海外	0932												
そ の 他	国内	0933												
	海外	0934												



10 企業経営の方向 (年度末現在)

(1) 取締役の人数

貴社の取締役の人数を記入してください。

社内取締役(人)	社外取締役(人)	うち、関係会社(人)

(注1) 関係会社の記入には、9(2)(注1)を参照してください。

(注2) **ストックオプションの実施については**、取締役等または従業員のいずれかに実施している場合は、1に○を付けてください。

(2) 委員会設置会社ですか。該当する番号に○を付けてください。

1. はい 2. いいえ

(3) ストックオプション制度について、設問の該当する番号に○を付けてください。

ストックオプションの実施状況 1. 実施している 2. 実施していない